

ORDERING APPARATUS, ORDERING AND ORDER-RECEIVING SYSTEM, ORDERING METHOD AND RECORD MEDIUM

Publication number: JP2002074087

Publication date: 2002-03-12

Inventor: TAGAMI YASUYUKI

Applicant: TAGAMI YASUYUKI

Classification:

- international: G06Q30/00; G06Q50/00; G06Q30/00; G06Q50/00;
(IPC1-7): G06F17/60

- European:

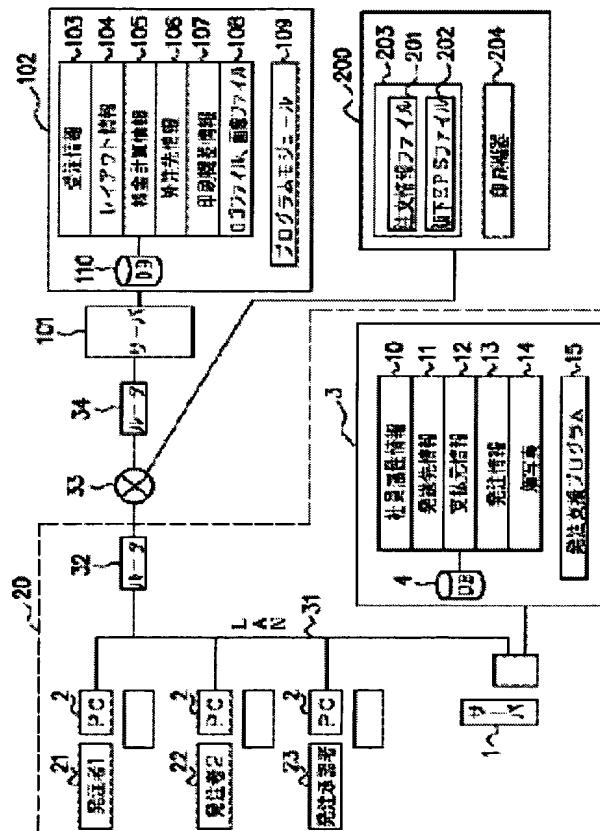
Application number: JP20000259278 20000829

Priority number(s): JP20000259278 20000829

Report a data error here

Abstract of JP2002074087

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an ordering apparatus, capable of simply ordering the commodity to which text information and image information are applied. **SOLUTION:** This ordering apparatus has an input means for inputting text information and image information, a display means for displaying an image where, the information input by the input means is applied onto the commodity, and an order instructing means for instructing ordering of the commodity to which the information is applied.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-74087
(P2002-74087A)

(43)公開日 平成14年3月12日(2002.3.12)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 C 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C
	1 2 4		1 2 4
	3 0 2		3 0 2 A

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 11 頁)

(21)出願番号 特願2000-259278(P2000-259278)

(22)出願日 平成12年8月29日(2000.8.29)

(71)出願人 500406425

田上 恭由

福岡県福岡市早良区原2丁目9番10-203

(72)発明者 田上 恭由

福岡県福岡市早良区原2丁目9番10-203

(74)代理人 100090273

弁理士 國分 孝悦

Fターム(参考) 5B049 BB07 CC05 DD01 EE07 FF03

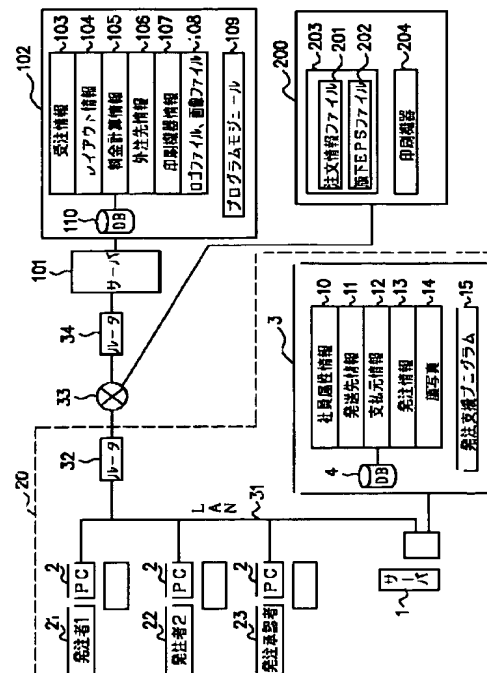
GC00 GG04

(54)【発明の名称】 発注装置、受発注システム、発注方法及び記録媒体

(57)【要約】

【課題】 テキスト情報又は画像情報が付与された商品の発注を簡単に行うことができる発注装置を提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明の発注装置は、テキスト情報又は画像情報を入力する入力手段と、入力手段により入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する表示手段と、その情報が付与された商品の注文を指示する注文指示手段とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 テキスト情報又は画像情報を入力する入力手段と、
前記入力手段により入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する表示手段と、
前記情報が付与された商品の注文を指示する注文指示手段とを有する発注装置。

【請求項2】 さらに、商品を選択する商品選択手段を有する請求項1記載の発注装置。

【請求項3】 前記入力手段は、名前、住所、電話番号、FAX番号及びEメールアドレスのうちの少なくとも一つを含むテキスト情報を入力する請求項1又は2記載の発注装置。

【請求項4】 前記商品は、名刺、はがき、封筒、カレンダー、パンフレット、ちらし、請求書、衣類、ボールペン又ははんこである請求項3記載の発注装置。

【請求項5】 さらに、前記情報が付与される商品のレイアウトを指定するレイアウト指定手段を有する請求項1〜4のいずれかに記載の発注装置。

【請求項6】 前記レイアウト指定手段は、書体、文字サイズ、色、長体、文字位置、縦組み、横組み、左寄せ、右寄せ又はセンタリングを指定する請求項5記載の発注装置。

【請求項7】 前記レイアウト指定手段は、画像貼りつけを指定することができる請求項5記載の発注装置。

【請求項8】 前記表示手段は、前記レイアウト指定手段により指定されたレイアウトで前記情報が付与された商品を表示する請求項5記載の発注装置。

【請求項9】 さらに、複数人の名簿情報を記憶するデータベースを有し、前記入力手段は前記名簿情報から所定の情報を選択して入力する請求項1〜8のいずれかに記載の発注装置。

【請求項10】 前記データベースは、社員名簿情報を記憶する請求項9記載の発注装置。

【請求項11】 前記社員名簿情報は、役職、名前、住所、電話番号、FAX番号及びEメールアドレスのうちの少なくとも一つを含む請求項10記載の発注装置。

【請求項12】 前記社員名簿情報は、さらに顔写真情報を含む請求項11記載の発注装置。

【請求項13】 発注装置と受注装置とネットワークを介して接続された受発注システムであって、
前記発注装置は、
テキスト情報又は画像情報を入力する入力手段と、
前記入力手段により入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する表示手段と、
前記情報が付与された商品の注文を指示する注文指示手段と、
前記指示された注文情報をネットワークを介して前記受注装置に送信する送信手段とを有し、
前記受注装置は、

ネットワークを介して前記発注装置から注文情報を受信する受信手段と、

前記受信した注文情報に応じて前記情報が付与された商品の製作開始を指示する製作開始指示手段とを有する受発注システム。

【請求項14】 前記発注装置は、さらに、複数人の名簿情報を記憶するデータベースを有し、前記入力手段は前記名簿情報から所定の情報を選択して入力する請求項13記載の受発注システム。

【請求項15】 前記受注装置は、さらに、前記製作開始指示から所定時間後又は製作終了後に前記受信した注文情報を削除する削除手段を有する請求項14記載の受発注システム。

【請求項16】 前記発注装置の注文指示手段は、まず仮発注を指示し、その後に本発注を指示し、
前記受注装置の製作開始指示手段は、前記本発注が指示された後に製作開始を指示する請求項14又は15記載の受発注システム。

【請求項17】 (a) テキスト情報又は画像情報を入力するステップと、

(b) 前記入力された情報を商品上に付与したイメージを表示するステップと、

(c) 前記情報が付与された商品の注文を指示するステップとを有する発注方法。

【請求項18】 (a) テキスト情報又は画像情報を入力する手順と、

(b) 前記入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する手順と、

(c) 前記情報が付与された商品の注文を指示する手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、発注装置、受発注システム、発注方法及び記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】名刺の印刷を注文する場合には、会社名、役職、氏名、住所、電話番号を紙媒体又は口頭で指定して印刷を依頼する。印刷会社は、それらの情報を基に版下を作成する。依頼者等は、その版下を基に校正を行う。この版下作成及び校正に要する作業が煩雑であるために、名刺作成費用が高額になる。上記の作業コストが名刺作成コストの大部分を占める。この理由により、名刺印刷を依頼するには、ある程度の多枚数の名刺でないと依頼することができず、また、依頼する名刺の枚数が増えても、それ程名刺作成費用が増加しない結果となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、版下作成及び校正の作業が煩雑であるために、名刺作成費用が

高くなってしまう。また、依頼者は、名刺のレイアウトを細かに指定することが困難であり、できあがりのレイアウトを想像することが困難であるため、必ずしも依頼者の期待通りの名刺が出来上がるとは限らない。

【0004】本発明の目的は、商品の発注を簡単にするることである。本発明の他の目的は、版下作成及び校正の処理を簡単かつ確実にすることである。本発明のさらに他の目的は、発注者の情報を外部に漏らさずに商品を発注することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の一観点によれば、テキスト情報又は画像情報を入力する入力手段と、前記入力手段により入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する表示手段と、前記情報が付与された商品の注文を指示する注文指示手段とを有する発注装置が提供される。

【0006】本発明の他の目的は、発注装置と受注装置とネットワークを介して接続された受発注システムであって、前記発注装置は、テキスト情報又は画像情報を入力する入力手段と、前記入力手段により入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する表示手段と、前記情報が付与された商品の注文を指示する注文指示手段と、前記指示された注文情報をネットワークを介して前記受注装置に送信する送信手段とを有し、前記受注装置は、ネットワークを介して前記発注装置から注文情報を受信する受信手段と、前記受信した注文情報に応じて前記情報が付与された商品の製作開始を指示する製作開始指示手段とを有する受発注システムが提供される。

【0007】本発明のさらに他の目的は、(a) テキスト情報又は画像情報を入力するステップと、(b) 前記入力された情報を商品上に付与したイメージを表示するステップと、(c) 前記情報が付与された商品の注文を指示するステップとを有する発注方法が提供される。

【0008】本発明のさらに他の目的は、(a) テキスト情報又は画像情報を入力する手順と、(b) 前記入力された情報を商品上に付与したイメージを表示する手順と、(c) 前記情報が付与された商品の注文を指示する手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【0009】本発明によれば、テキスト情報又は画像情報を入力して、その情報が付与された商品の注文を指示することができるので、商品の発注を簡単に行うことができる。また、所定の情報が付与された商品のイメージを表示するので、版下作成及び校正の処理を簡単かつ確実に行うことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の実施形態による受発注システムの構成例を示すブロック図である。一般企業20の社員が名刺の発注を行い、データセンタサー

バ101がそれを受注し、印刷会社コンピュータ200が名刺印刷を行う。

【0011】一般企業20は、社内ローカルエリアネットワーク(LAN)31を有する。LAN31には、第1の発注者である社員21が扱うパーソナルコンピュータ(PC)2、第2の発注者である社員22が扱うPC2、発注承認者である経理担当者23が扱うPC2、名刺サーバ1、ルータ32が接続されている。ルータ32は、社外のネットワーク(例えばインターネット)33にも接続されている。

【0012】名刺サーバ1は、外部記憶装置3を有する。外部記憶装置3には、データベース4及び発注支援プログラム15が記憶されている。データベース4は、社員属性情報(社員名簿情報)10、発送先情報11、支払元情報12、発注情報13、顔写真情報14を有する。

【0013】社員属性情報10は、名前、役職、住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス等を含む。発送先情報11は、発注者の社員への発送先である所属部署等を含む。支払元情報12は、名刺費用を支払う担当者(例えば経理部)の情報を含む。発注情報13は、発注する名刺の枚数や紙質等の情報を含む。顔写真情報14は、各社員の顔写真であり、名刺に印刷するためのものである。名刺サーバ1は、発注支援プログラム15に従い、後述の名刺発注処理を行う。

【0014】データセンタサーバ101は、ルータ34を介してネットワーク33に接続されており、外部記憶装置102を有する。外部記憶装置102は、データベース110及びプログラムモジュール109を記憶する。データベース110は、受注情報103、レイアウト情報104、料金計算情報105、外注先情報106、印刷機器情報107、ロゴファイル及び画像ファイル108を有する。

【0015】受注情報103は、受注した枚数及び紙質等の情報を含む。レイアウト情報104は、デザインや配置等のレイアウト情報である。料金計算情報105は、受注に応じて、発注者に請求する費用を計算するために必要な情報である。外注先情報106は、印刷を外注先の印刷会社に依頼する場合の外注先の情報である。印刷機器情報107は、印刷機器に入力するEPSファイル等を作成する際に必要になる印刷機器203の情報である。ロゴファイル及び画像ファイル108は、名刺に印刷するための企業ロゴや社屋の画像ファイルである。データセンタサーバ101は、プログラムモジュール109に従い、後述の名刺受注処理を行う。

【0016】印刷会社コンピュータ200は、ネットワーク33に接続され、記憶装置203及び印刷機器204を有する。記憶装置203には、ネットワーク33を介して、データセンタサーバ101から受信した注文情報ファイル201及び版下EPSファイル202を記憶

する。印刷機器204は、版下EPSファイル202を入力して、名刺印刷を行う。

【0017】図2は、名刺サーバ1、PC2、ルータ32、34、データセンタサーバ101、印刷会社コンピュータ200のハードウェア構成を示す。これらは、例えばパーソナルコンピュータや汎用コンピュータ等を用いることができる。バス411には、中央処理装置(CPU)412、ROM413、RAM414、ネットワークインタフェース415、入力装置416、出力装置417及び外部記憶装置418が接続されている。

【0018】CPU412は、データの処理又は演算を行うと共に、バス411を介して接続された各種構成要素を制御するものであり、後に説明する発注、受注又は印刷の処理を実行する。

【0019】ROM413には、予めCPU412の制御手順(コンピュータプログラム)を記憶させておき、このコンピュータプログラムをCPU412が実行することにより、コンピュータが起動する。外部記憶装置418にコンピュータプログラムが記憶されており、そのコンピュータプログラムがRAM414にコピーされて実行される。RAM414は、データの入出力、送受信のためのワークメモリ、各構成要素の制御のための一時記憶として用いられる。

【0020】ネットワークインタフェース415は、図1に示すネットワーク31又は33等に接続するためのインタフェースである。入力装置416は、例えばキーボード及びマウス等であり、各種指定又は入力等を行うことができる。出力装置417は、ディスプレイ等であり、名刺の印刷イメージを表示することができる。印刷会社コンピュータ200(図1)では、出力装置(印刷機器又はプリンタ)417が名刺の印刷を行うことができる。

【0021】外部記憶装置418は、例えばハードディスク記憶装置等であり、電源を切っても記憶内容が消えない。外部記憶装置418には、上記のコンピュータプログラムの他、図1に示すデータベース4又は110を記憶する。

【0022】コンピュータプログラムをコンピュータに供給するための手段、例えばかかるコンピュータプログラムを格納した記録媒体は本発明を構成する。かかるコンピュータプログラムを記憶する記録媒体としては、例えばフロッピー(登録商標)ディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM等を用いることができる。その記録媒体上のコンピュータプログラムは、RAM414にコピーされ、CPU412により実行される。

【0023】図3は、図1の一般企業20内の社員(発注者)21又は22が名刺を注文する際の処理を示すフローチャートである。ステップSA1では、社員21又

は22が自己のPC2から、名刺サーバ1にアクセスする。ステップSA2では、自己の情報が掲載されている名刺サーバ1内のページ(社員属性情報10)がブックマークに登録されているか否かをチェックする。ブックマークは、「お気に入り」等として登録されている。ブックマークに登録されていれば、そのブックマークを指定することにより、自己の情報が掲載されているページを自己のPC2に表示させることができる。ブックマークに登録されていない場合には、ステップSA3で、名刺サーバ1内の自己の情報が掲載されているページを探して、自己のPC2に表示させる。

【0024】次に、ステップSA4で、表示された自己の情報の内容が正しいか否かをチェックする。自己の情報は、社員属性情報10及び顔写真情報14等である。社員属性情報10は、会社名、役職、名前、住所、電話番号、FAX番号等を含む。正しくなければ、ステップSA5で、その情報の修正を行う。

【0025】次に、ステップSA6で、名刺サーバ1がネットワーク33等を介してデータセンタサーバ101に接続し、通信を開始する。ステップSA7では、社員が名刺の枚数等の注文情報をPC2に入力して、PC2の画面上の校正ボタン(変更ボタン)をマウスでクリックする。

【0026】ステップSA8では、図4に示す画面が表示される。役職302、名前(日本語表記)303、名前(英語表記)304、住所305、電話番号・FAX番号・Eメールアドレス306には、上記の社員の情報10が表示される。名刺印刷イメージ301には、上記の社員情報(テキスト情報)302～306が名刺に印刷されたイメージを表示し、その他、企業ロゴや社屋写真や顔写真を表示することもできる。この画面は、ブラウザ(例えばインタネットエクスプローラ)により表示させることができる。

【0027】ステップSA9では、上記の名刺印刷イメージの内容が正しいか、又はそのイメージのレイアウトでよいか否かを社員がチェックする。校正を行いたい場合には、ステップSA10で、校正処理を行う。例えば、図4の画面において、上記の社員情報302～306を修正したり、それらの右横に配置されたクリアボタン311をマウスでクリックすることにより、それらに対応する情報をクリアすることができる。

【0028】また、サンプルを選択ボタン321をクリックすると、名刺のサンプルを選択することができる。文字を入力ボタン322をクリックすると、上記の社員情報以外の新たな文字を追加することができる。書体を変更ボタン323をクリックすると、文字の書体を変更することができる。文字サイズを変更ボタン324をクリックすると、文字のサイズを変更することができる。これ以外のメニューボタン325をクリックすると、色、長体、文字位置、縦組み、横組み、左寄せ、右寄せ

又はセンタリング等を指定することができる。デザイン保存326をクリックすると、名刺のデザインを保存することができる。

【0029】上記の社員情報302～306の変更又はボタン321～326による指定を行った後、変更ボタン（校正ボタン）312をクリックすると、その変更又は指定に応じた名刺印刷イメージ301が再表示される。また、拡大縮小ボタン313をクリックすると、名刺印刷イメージ301を拡大又は縮小することができる。ボックス表示ボタン314をクリックすると、名刺印刷イメージ301をボックス表示することができる。グリッド表示ボタン315をクリックすると、名刺印刷イメージ301を5mm間隔のグリッド表示にすることができる。エリア327をクリックすると、この画面の使用法、料金表、名刺の発送方法、支払い方法等を表示させることができる。

【0030】次に、図3のステップSA11で、画面上の発注ボタンSA11をクリックすると、上記の名刺を印刷するために必要な発注情報13を名刺サーバ1からデータセンタサーバ101にネットワーク33を介して送信する。ステップSA12では、データセンタサーバ101が上記の発注情報13を受信して、仮注文情報として記憶する。

【0031】図6は、データセンタサーバ101の処理を示すフローチャートである。上記のように、図4の変更ボタン312がクリックされると、図6のステップSC1で、データセンタサーバ101が変更イベントを名刺サーバ1から受信する。ステップSC2では、変更イベント内に含まれるレイアウト情報、ロゴファイル、画像ファイル等を参照して、名刺印刷版下画像を生成し、名刺サーバ1に返送する。すると、発注者のPC2の画面（図4）上には、変更後の名刺印刷イメージ301が表示される。

【0032】図3のステップSA11で発注ボタンが押された後、図6のステップSC3で、データセンタサーバ101は発注イベントを名刺サーバ1から受信する。ステップSC4では、受信した発注イベント内の発注情報を、仮注文データベース内に仮注文データとして格納する。ステップSC5では、仮注文情報を受信した旨を、発注者21又は22、発注承認者23に電子メール（Eメール）で伝える。発注者21、22及び発注承認者23は、その電子メールで仮発注が完了したことを確認することができる。

【0033】図5は、上記の電子メールを受信した発注承認者23の操作によりPC2等が行う処理を示すフローチャートである。ステップSB1では、上記の電子メールを受信したことを受けて、仮発注情報を確認するための名刺サーバ1内のページがブックマークに登録されているか否かをチェックする。登録されていれば、ブックマークを用いて、仮発注情報のページをPC2上に表

示させる。登録されていなければ、ステップSB2で、自己のPC2から名刺サーバ1にアクセスし、仮発注情報を表示させる。

【0034】次に、ステップSB3で、仮発注情報エリアに仮発注情報があるか否かをチェックする。仮発注情報がなければ処理を終了し、仮発注情報があればステップSB4へ進む。

【0035】ステップSB4では、仮発注情報のリスト内の情報をすべて承認するか否かを判断する。すべて承認するのであれば、その旨を確認してステップSB6へ進む。すべて承認するのでなければ、ステップSB5で、リスト内の承認しないものについてはその旨を入力し、ステップSB6へ進む。

【0036】ステップSB6では、画面上の承認ボタンをクリックし、承認情報を名刺サーバ1からデータセンタサーバ101に送信する。ステップSB7では、上記の承認情報が本注文情報としてデータセンタサーバ101に登録される。

【0037】次に、データセンタサーバ101の処理を説明する。上記のステップSB6で、承認ボタンがクリックされると、図6のステップSC6で、データセンタサーバ101は承認イベントを名刺サーバ1から受信する。ステップSC7では、受信した承認イベントに基づき、名刺印刷イメージのEPS（encapsulated PostScript）ファイル及びPDF（portable document format）ファイルを生成し、注文書（作業指示書）を生成する。EPSファイル及びPDFファイルは、いずれか一方のみを生成してもよい。両ファイルを生成することにより、印刷会社が印刷する際に所望のファイルを選択することが可能になる。ステップSC9では、印刷会社、発注者及び発注承認者に、承認イベント（本発注イベント）を受信した旨の確認メールを送信する。

【0038】図7は、図1の印刷会社コンピュータ200が行う処理を示すフローチャートである。ステップSD1では、図6のステップSC9で送信された確認メールを受信する。ステップSD2では、画面上のダウンロードボタンをクリックする。ステップSD3では、上記のクリックに応じて、データセンタサーバ101から上記のEPSファイル、PDFファイル及び注文書を受信する。ステップSD4では、受信した内容を確認する。ステップSD5では、EPSファイル又はPDFファイルを印刷機器204に入力して、注文枚数だけ名刺を印刷する。ステップSD6では、印刷された名刺の検品を行い、発注者である社員21又は22に発送する。ステップSD7では、画面上の削除ボタンをクリックする。ステップSD8では、上記のクリックに応じて、データセンタサーバ101内の発注情報103を削除し、印刷会社コンピュータ200内の注文情報ファイル201及びEPSファイル及びPDFファイル202を削除する。これにより、一般会社20の社員名簿情報が外部に

漏洩することを防止できる。

【0039】なお、上記の削除ボタンをクリックすることにより削除する方法に限定されず、ステップSD2及びSD3でダウンロードボタンをクリックしてファイルを受信してから所定期間後に自動的に削除するようにしてもよい。すなわち、製作開始指示から所定期間後に自動削除することができる。

【0040】本実施形態によれば、図1の社員名簿情報10を用いて名刺印刷を発注することができるので、各社員は名刺印刷に必要な情報をすべて新規に入力する必要がなく、簡単に名刺印刷を発注することができる。この効果は、特に多数の社員を有する会社内の社員が発注する場合に大きなメリットがある。この際、社員名簿情報10が外部に漏れることを防止するため、社員名簿情報10は一般会社20内で保持及び管理され、データセンタサーバ101及び印刷会社コンピュータ200に社員名簿情報10そのものを渡す必要がない。一般会社20の社員は、社員名簿情報10を外部に漏らすことなく、名刺印刷を簡単に発注することができる。

【0041】従来の名刺印刷では、版下作成及び校正の作業が煩雑であるために、名刺印刷費用が高くなってしまっていた。本実施形態では、発注者が図4の画面で版下作成及び校正を行うので、印刷業者の手間が省け、名刺印刷費用を安くすることができる。これにより、名刺1枚からの注文が可能になり、名刺1枚であっても安価で注文を行うことが可能になる。また、発注者は、図4の画面にて具体的な名刺印刷イメージを参照しながら、レイアウトを細かに指定することができるので、できあがりのレイアウトを容易に想像することができ、発注者の期待通りの名刺が出来上がる。また、発注から納期までの時間を短縮することができる。

【0042】なお、上記では、商品としての名刺に名前等の情報が印刷されたものを発注する場合を説明したが、商品は、名刺に限定されず、はがき、封筒、カレンダー、パンフレット、ちらし、請求書、衣類、ボールペン又ははんこ等であってもよい。特に、商品は、名刺、はがき又は封筒が好ましい。商品が複数ある場合には、まず、複数の商品の中から所望の商品を選択し、その後図4の画面に移行することができる。また、商品に名前等の情報を印刷する場合に限定されず、ボールペンやはんこ等の場合には、成形加工等の印刷以外の方法で名前等の情報を商品に付与してもよい。

【0043】図8(A)、(B)は、ボールペンに情報を付与する場合の画面例を示す。図8(A)において、画面下段の社名及び電話番号等を入力すると、画面上段に社名及び電話番号のイメージの拡大図が表示される。画面左段では、文字、文字の大きさ、書体変更、色の変更、文字方向、移動、拡大縮小、追加、削除及び画面貼り込み等を指定することができる。変更ボタンをクリックすると、図8(B)に示すように、ボールペン上に社

名及び電話番号が付与されたイメージが表示される。その後、注文ボタンをクリックすると、発注を指示することができる。

【0044】図9(A)、(B)は、カレンダーに情報を付与する場合の画面例を示す。図9(A)において、画面下段のキャッチフレーズ及びタイトル等を入力すると、画面上段にキャッチフレーズ及びタイトルのイメージの拡大図が表示される。画面左段では、文字、文字の大きさ、書体変更、色の変更、文字方向、移動、拡大縮小、追加、削除及び画面貼り込み等を指定することができる。変更ボタンをクリックすると、図9(B)に示すように、カレンダー上にキャッチフレーズ及びタイトルが付与されたイメージが表示される。

【0045】図10(A)～(C)は、ちらしに情報を付与する場合の画面例を示す。図10(A)において、ちらしのレイアウトを選択する。次に、図10(B)において、画面下段のキャッチフレーズ及びタイトル等を入力すると、画面上段にキャッチフレーズ及びタイトルのイメージの拡大図が表示される。画面左段では、文字、文字の大きさ、書体変更、色の変更、文字方向、移動、拡大縮小、追加、削除及び画面貼り込み等を指定することができる。変更ボタンをクリックすると、図10(C)に示すように、ちらし上にキャッチフレーズ及びタイトル等が付与されたイメージが表示される。

【0046】また、図1のデータセンタサーバ101が外注先の印刷会社コンピュータ200に印刷を依頼する場合を例に説明したが、データセンタサーバ101が自ら印刷業務を行ってもよい。すなわち、データセンタサーバ101と印刷会社コンピュータ200を一体化させてもよい。

【0047】上記実施形態は、何れも本発明を実施するにあたっての具体化のほんの一例を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその技術思想、またはその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【0048】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、テキスト情報又は画像情報を入力して、その情報が付与された商品の注文を指示することができるので、商品の発注を簡単に行うことができる。また、所定の情報が付与された商品のイメージを表示するので、版下作成及び校正の処理を簡単かつ確実に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態による受発注システムの構成例を示すブロック図である。

【図2】名刺サーバ等のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図3】発注処理を示すフローチャートである。

【図4】発注を行う際の表示画面を示す図である。

【図5】発注承認処理を示すフローチャートである。

【図6】データセンタサーバの処理を示すフローチャートである。

【図7】印刷会社コンピュータの処理を示すフローチャートである。

【図8】ボールペンに所定の情報を付与する場合の画面例を示す図である。

【図9】カレンダーに所定の情報を付与する場合の画面例を示す図である。

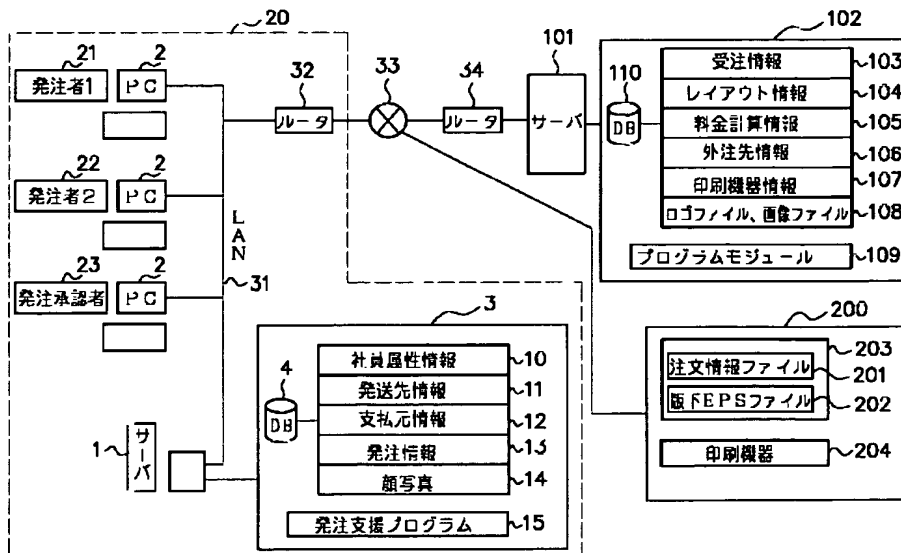
【図10】ちらしに所定の情報を付与する場合の画面例を示す図である。

【符号の説明】

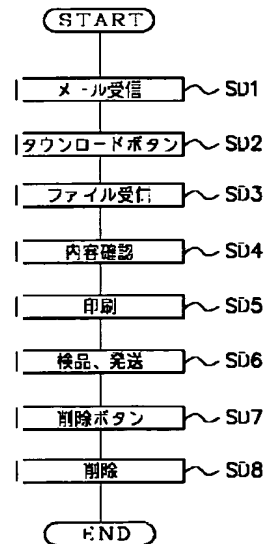
- 1 名刺サーバ
- 2 パーソナルコンピュータ
- 3 外部記憶装置
- 4 データベース
- 10 社員属性情報(社員名簿情報)
- 11 発注先情報
- 12 支払元情報
- 13 発注情報
- 14 顔写真情報
- 15 発注支援プログラム
- 21、22 発注者
- 23 発注承認者
- 31 LAN
- 32 ルータ

- 33 ネットワーク
- 34 ルータ
- 101 データセンタサーバ
- 102 外部記憶装置
- 103 受注情報
- 104 レイアウト情報
- 105 料金計算情報
- 106 外注先情報
- 107 印刷機器情報
- 108 ログファイル及び画像ファイル
- 109 プログラムモジュール
- 110 データベース
- 200 印刷会社コンピュータ
- 201 注文情報ファイル
- 202 版下EPSファイル
- 203 記憶装置
- 204 印刷機器
- 411 バス
- 412 CPU
- 413 ROM
- 414 RAM
- 415 ネットワークインタフェース
- 416 入力装置
- 417 出力装置
- 418 外部記憶装置

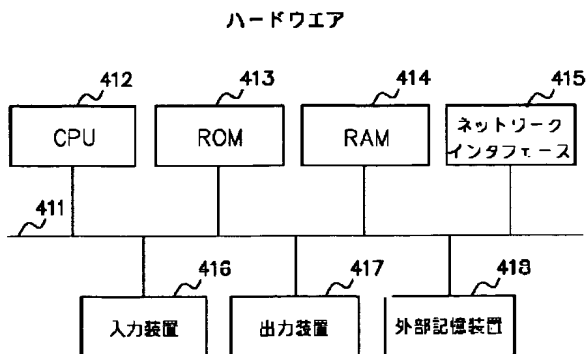
【図1】



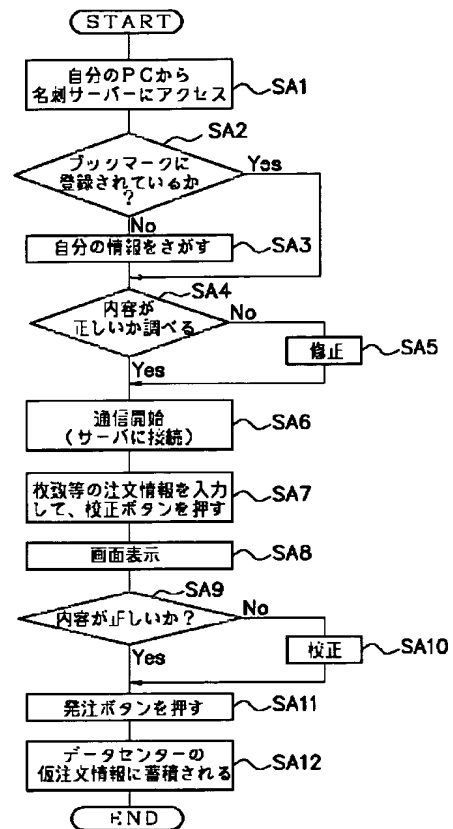
【図7】



【図2】



【図3】



【図4】

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 印刷(P) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 新規入力 履歴 フォルダ リサイズ 印刷 印刷

アドレス http://www1.ycomps.co.jp/asp/10/Frame.asp?f=AH062

文字 文字の入力・編集をします。

拡大・縮小 313 ポツツス表示 314 グリッド表示 (5mm単位) 315

株式会社
ワイコム
代表取締役
山田 太郎
Taro Yamada
福岡市博多区博多駅前4-19-28E 2F TEL 092-415-1494 FAX 092-415-1495

下の校正ボタンを押すと
上の表示に反映します。
削除したい項目はクリアボタン
を押してください。

注意！
校正ボタンを押す前に
次の画面に移動した場合
入力内容は破棄されます。

校正ボタン 312 実行メニューを画面上で選択し、半角英数字のみで入力してください。(スペースも半角の。) 302

役職 302 クリア 311

名前1 303 クリア 311

山田 太郎 304 クリア 311

名前2 304 クリア 311

Taro Yamada 305 クリア 311

住所1 305 クリア 311

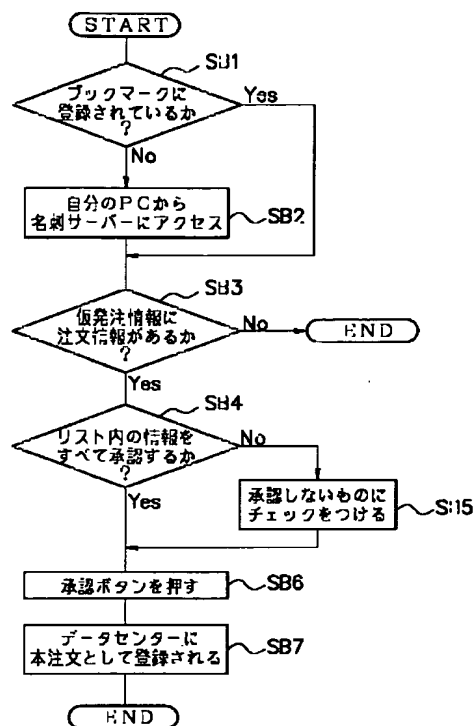
福岡市博多区博多駅前4-19-28E 2F TEL 092-415-1494 FAX 092-415-1495 306 クリア 311

Tel/Fax/mail 306

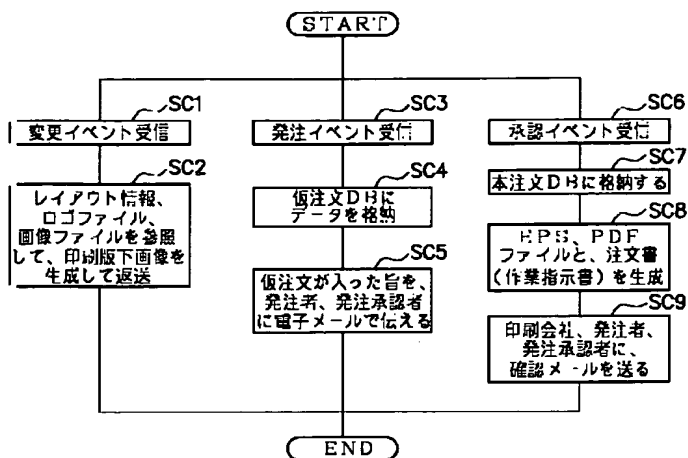
TEL 092-415-1494 FAX 092-415-1495

オンラインモード

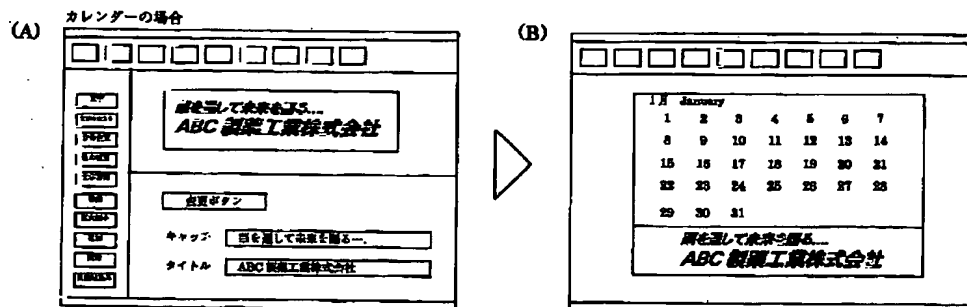
【图5】



【图6】



【図9】



【図8】

ボールペンの場合

(A)

文字

03-1234-5678

会社名

03-1234-5678

住所

03-1234-5678

電話番号

03-1234-5678

郵便番号

03-1234-5678

設置ボタン

社名

株式会社田中企画

電話番号

03-1234-5678

(B)

文字

03-1234-5678

会社名

03-1234-5678

住所

03-1234-5678

電話番号

03-1234-5678

郵便番号

03-1234-5678

株式会社田中企画

03-1234-5678

注文する

【図10】

